

## 成績不振者への対応（国内大学）

2012/01/11

高等教育研究センター

武蔵野大学： C=1.0 で、卒業には GPA=2.0 以上が必要

### 2. GPA2.0 未満の学生への指導

各学期の GPA が 2.0 未満であった学生にクラスアドバイザーから学修指導を実施しています。GPA2.0 未満が 2 期連続して続いた場合は、さらにクラスアドバイザーの指導を強化し、進路変更など指導をします。

### 3. 履修登録単位数の変動

次のように履修登録単位数を GPA ポイントと連動させます。（なお、この取組みは 2007 年度／平成 19 年度から実施します）

★ 毎年 4 月 1 日現在の GPA ポイント 3.5 以上の学生は、履修上限単位より 8 単位拡大して履修登録が許可されます。

★ 毎年 4 月 1 日現在の GPA ポイント 3.0 以上の学生は、履修上限単位より 4 単位拡大して履修登録が許可されます。

道都大学： D は 60 点台で GP=1、卒業要件は GPA が 1.2 以上

### 履修アドバイザー制度と GPA による修学指導

履修アドバイザー制度とは、履修アドバイザーである担当教員が、学生に対し履修登録時に履修目標設定等に関してアドバイスを行うなど学生による自主的な修学管理を指導するために導入している。履修アドバイザーは学生の各学期及び通算 GPA により次の修学指導を実施する。

① 1 学期の GPA が 1.2 未満となった学生及び GPA 1.5 未満が 2 学期連続、または通算 3 学期になった学生に対して、履修アドバイザーによる指導を行う。

② GPA 1.2 未満が 2 学期連続、または通算 3 学期になった学生に対しては、本人に対して履修アドバイザーによる指導を行い、面談記録（又は指導記録）を保証人（保護者）に送付する。

③ GPA 1.2 未満が 3 学期連続、または通算 4 学期になった学生に対しては、本人に対して学部長又は学科長による指導を行い、面談記録（又は指導記録）を保証人（保護者）に送付する。

④ ③の該当学生で指導を行っても以後の修学について改善が認められない場合（特別な理由がある場合を除く）は、教務委員会及び教授会の議を経て、原則として退学の

勧告を行うこととする。

※教務課でも常時窓口や教務課相談ブースにおいて学習相談・履修指導等を実施しています。

#### 卒業要件等としての GPA

卒業するには、本学において定められた期間の修学，定められた授業科目を含む124単位以上の修得の他，入学時からの通算GPAが1.2以上であることを要する。また，入学時から卒業時までの通算GPAの高得点者を卒業式時に成績優秀者として学長が表彰する。

長崎ウエスレヤン大学：

#### (4) GPAによる履修制限・指導

1. 学期GPAが2学期連続して1.00未満の者は、学生委員会およびゼミ担当教員により次学期履修登録までに勧告・指導・助言を行います。
2. 上記1.の指導に基づき、それ以前にグレードポイントが0の科目を累積GPAに算入しないことができます。(学業精算制度)ただし、この権利を行使できるのは在学中一度までとします。
3. 累積GPAが1.00未満の者は、「専門演習II」の履修登録ができません。
4. 学期GPAが3学期連続して1.00未満の者には学部長が退学を勧告します。ただし、累積GPAが1.00以上の場合と上記1.の勧告・指導・助言が適用されていない場合は、退学勧告対象としません。